



土堂小 自ら学ぶ 学校だより



尾道市立土堂小学校
令和5年7月20日 第5号

〒722-0032 尾道市西土堂町 18-6
電話:0848-23-3921 FAX:0848-23-3922
e-mail:tsuchido-e@onomichi.ed.jp

学校教育目標:志を持ち、未来を拓く子どもの育成



～1学期 子供達の成長は無量大 2学期の原動力となる夏休みに～

明日から子供達にとって楽しみな夏休みが始まります。1学期の子供達は、本校が目指す4つの資質・能力を意識し、友達と共に何事にも全力で取り組む姿が多く見られました。土堂っ子の力は、やはり無量大で、今後も楽しみでたまりません。

7月各学級では、1学期を振り返り、子供達が自分自身の成長を実感し、さらに努力すべき点について理解できるよう指導してきました。確かな学力を身に付けるため、毎時間評価を行い、一人一人の学習状況を把握し、個に応じた指導を行っています。また、その評価を指導に生かすことで、子供の良さや可能性を引き出し、やる気を起こさせるように努めています。そのことが学習評価の大切な点だと捉えています。明日の懇談会でも、保護者の方々と共に、子供の可能性・長所を連携し、さらに伸ばせる具体のお話ができればと思っています。

夏休みは、その経験が2学期からの学校生活をさらに充実させるきっかけや原動力となり、志を新たに準備する絶好のチャンスです。どうか健康に留意し、9月1日には、キラキラと目を輝かせ登校する土堂っ子に会えることを楽しみにしています。

地域の皆様、保護者の皆様、1学期を無事終えることができましたことに、心から感謝申し上げます。



計算カードをがんばる1年生

4つの資質・能力が高まっています！

土堂小学校では、全教育活動を通して、
「つながる知識（ならったことをつかって）」
「試行錯誤力（よりよい考えを出して）」
「主体性（自分からすすんで）」
「協働性（みんなと一緒に）」

という4つの資質・能力を育成しています。

上の学年になると、この4つの資質・能力を言うことができますし、高学年では、これを達成した姿を自分達で考えています。

特に授業においては、これらの力を付け、高めることを意識しています。どの教科の授業でも「自分の考えを持たせること」「自分の考えを表現すること」「解決に向けて友達との話し合いをすること」「自分の学びを振り返ること」を意識して、授業の準備、進め方の工夫をしています。

1学期も終わりになり、成果が子供達の姿から伺えるようになりました。特に良い姿だと思っているのが、友達との話し合いです。ペアで伝え合ったり、3～4人のグループで協議をしたりしています。話し合いの場が1つの授業の中に複数回あり、合計10分くらいは話し合いにより解決に向かっています。授業者が必要だと思った時に、目的意識をもって話し合いの場面を設定します。すると、子供達はすぐに話し合いを始め、自分の考えを言い合います。短い時間の中で、内容の充実した学習をしていると捉えています。ここに、タブレットも活用され、さらに授業のねらい達成に近づいていきます。

教員は、子供達が意欲的に学習できるように準備をがんばっています。

それに応えるように、子供達は、主体的に学習に取り組んでいます。モジュールで培った基礎学力が土台となり、それを生かした主体的な学習が、土堂小の学力の高さにもつながっていると思います。

この4つの資質・能力は、学習だけではなく、生きるうえで大切な力です。170名の子供達全員に身に付けさせ、社会で活躍できる人間にしていきたいと思っています。



読書活動が充実しています！

子供達が本に興味をもつ、読む力が高まる、心が豊かになるなど、読書を通して学力も心も育てたいと考えています。

毎朝、朝の会までの時間は、読書で1日がスタートします。土堂小学校の子供達は、「読書が好き」という子が多いです。最近では、尾道市立図書館で電子図書（タブレットで読みます）を借りることができます。色々なジャンルにふれさせることを目的とし、先週は、電子図書週間を設定しました。

昨年度に引き続き、1・2年生には、尾道で本を読む会「ルピナス」の皆様にお越しいただき、6月と7月に1回ずつ読み聞かせをしていただきました。45分の中で、たくさんの本を読んでくださったり、本を紹介してくださったりして、本の世界を楽しんでいます。

また、読書貯金の取組もがんばっています。先週は、学年ごとに読書目標を達成した子供達の表彰を行いました。校長室で、校長先生から賞状を受け取って、うれしそうな顔をしていました。表彰の様子は、1号館廊下に掲示しております。懇談会の時に、ぜひご覧ください。

夏休みは、少し時間があると思います。読書感想文の宿題もあります。読書は1人でするものですが、おうちの方と一緒に本を読むという時間も、子供達にとってうれしいのではないのでしょうか。図書館に行ってみるといい経験になるかもしれません。

学校でも家庭でも、本が好きな子供になるように、がんばっていきましょう。



ゲストティーチャーから学ぶ

総合的な学習の時間、社会科の時間に、ゲストティーチャーにお越しいただき、学びを深めました。

3年生では、尾道の祭りについて、尾道市役所文化振興課の林様にお越しいただきました。子供達の疑問になんでも答えてくださいました。祇園祭、三体神輿、ベッチャー祭りなど、たくさん教えていただきました。最後には、昔の尾道玩具である三体神輿のおもちゃを見せてくださり、遊ばせてくださいました。

4年生では、防災について学ぶために、尾道市役所総務部の岡本様にお越しいただきました。尾道の防災について知るとともに、災害の怖さを知る動画も見ていただきました。自然災害は止めることはできませんが、事前に備えることや、命を守る行動はできます。これから、4年生の学習はどのように広がっていくのか楽しみです。

4年生の社会科では、水みらい広島の皆様にお越しいただき、出前授業をしていただきました。蛇口をひねれば、安全でおいしい水を簡単に飲むことができます。子供達にとっては当たり前のことですが、安全な水を口にするまでに、どんなことが行われ、どんな苦労があるのかを実演を交えて教えていただきました。

4年生は、とても意欲的に学習し、反応も良く、学びが深まりました。水みらいの皆様からも、4年生の学習意欲や反応の良さをほめていただきました。今回の学びを通して、普段使っている水に対する見方や考え方が変わったのではないかと思います。「水を大切に」と最後に言われましたが、そう言われる意味が実感を持って分かったのではないかと思います。

